

● 理事長メッセージで振り返る8年 ●

原子力産業協会という1956年から続く法人があります。原発に関連する企業や自治体が会員です。この理事長が福島原発事故後どんなメッセージを発信したのか？を追いながらこの8年を振り返ります。ちょっとペースをあげましょう。。。4回目は「エネルギー基本計画」の閣議決定です。

安倍晋三
政権

2013年

9月15日 日本国内の原発稼働ゼロに

唯一稼働していた大飯原発が定期検査に入り、原発ゼロになります

9月17日 ●—— 再び原子力発電ゼロを迎えて

服部拓也 原産協会理事長

(参考資料①)

現在、「長期的な視野でエネルギーをどのようにして確保するか」については政策的な議論がなされているが、その間にも必要となる「良質な電気」を供給するためにも、「CO2を発生しない」「発電コストが安い」原子力発電が、その役割を担うべきではないか。

11月18日 福島第一原発4号炉使用済み燃料取り出し開始

燃料プールからの取り出し作業が始まります。(2014年12月終了)

●—— 福島第一原子力発電所4号機の 使用済み燃料取り出し開始に際して

服部拓也 原産協会理事長

(参考資料①)

作業の進捗に関する情報を広く国内外に公表し、安心につなげるとともに、作業で得られる知見、特に取り出した燃料に関するデータなどを広く共有し、世界の原子力安全の向上に貢献することが日本の責務である。

2014年

4月1日 福島県田村市都路(みやこじ)地区の避難指示解除

福島第一原発から半径20km圏に設定された旧警戒区域で初

●—— 田村市都路地区の避難指示解除にあたって

服部拓也 原産協会理事長

(参考資料①)

今後、帰還できる地区が広がり、故郷を取り戻すことができる日が近づくことを切に祈る。当協会としても、引き続き、地域の皆さまの目線に立って放射線に関する理解活動などに取り組んで参りたい。

参考資料

①原産協会HP 提言の発信

<https://www.jaif.or.jp/category/message>

②東電HP 福島第一廃炉推進カンパニー「福島第一廃炉推進カンパニーの設置について」

<http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1/decommision-j.html>

③資源エネルギー庁HP 「これまでのエネルギー基本計画について」

https://www.enecho.meti.go.jp/category/others/basic_plan/past.html#head

4月 7日 東電「福島第一廃炉推進カンパニー」設立

設立趣旨 (参考資料②)

- 廃炉・汚染水対策の責任と権限の明確化
- 意思決定の迅速化
- 知見・人材の積極的活用

「福島第一廃炉推進カンパニー」設立にあたって

服部拓也 原産協会理事長

(参考資料①)

「福島の復興なくして日本の原子力の将来はない」ことを強く心に刻み、福島第一廃炉推進カンパニーを中心に関係機関がそれぞれの役割を果たし、福島第一原子力発電所の廃炉作業の完遂に一丸となって取り組んでいただきたい。

4月 17日 第4次エネルギー基本計画閣議決定

『重要なベースロード電源』

『原発依存度を可能な限り低減する』 (参考資料③)

「重要なベースロード電源」としての役割を果たすために

服部拓也 原産協会理事長

(参考資料①)

前政権が展開した「原子力ゼロ方針」により広がった、我が国に対する国際的な懸念を払しょくする力強いメッセージ

本計画を現実のものとし、資源小国である我が国が、将来にわたってエネルギーの安定的な利用を継続するためには、国民一人ひとりがエネルギー安全保障、コストや環境問題に関心を持ち、自らのこととして考え、責任ある選択、行動をとる成熟した日本社会を目指さなければならない。

政府自らが先頭に立ち、決定プロセス等を含めた本計画の考え方について、広く国民にわかり易く説明し、国民的議論を深めていただきたい。

4月 18日 日・トルコ、日・UAE原子力協定 国会承認

トルコ共和国およびアラブ首長国連邦(UAE)との原子力協力協定承認にあたって

服部拓也 原産協会理事長

(参考資料①)

福島第一原子力発電所の事故後も、海外諸国、とりわけ、今後新たに原子力発電の導入を計画している新興国は、我が国の原子力関連技術を高く評価しており期待は大きい。その期待に応えることは、以下の理由に鑑み、我が国のみならず世界の安定と平和につながり、人類の持続的発展に貢献するものであることを確信する。

最後に一言

安倍政権下での「第4次エネルギー基本計画」決定。これはその後の原子力政策に強く影響を及ぼし、その後の「第5次エネルギー基本計画」でもその流れは変わっていません。本文で引用しませんでした。『原子力規制委員会により(中略)規制基準に適合すると認められた場合には、その判断を尊重し原子力発電所の再稼働を進める。』と規制委員会が原発の稼働を求めているかのような書きっぷり(実際にはそんな権限ありません)で、責任の所在をあやふやにし、それでも再稼働を進めるといふ無茶苦茶さ。安倍政権下でなんだかこういう無茶に慣れちゃいそうですが、ダメなもんはダメと言い続けたいといけません。